

科目名	総合日本語 (留学生科目)	教員名	胡 躍華	開講 コース	作物生産	1年次	後期																														
<p>・目的と内容</p> <p>この授業は日本語能力試験N2に合格することを目標とする。また、学校側の方針である2年次に日本語能力試験N1に合格するために必要な自習能力を養うことも目指す。</p> <p>後期は、前期「総合日本語」で身につけた基礎をもとに、日本語能力試験N2レベルの文法を中心に取り込む。前半では中級文法要点を整理し、学習のポイントをつかんで後半で実践力を養う。後半では12月の日本語能力試験に向かって総合練習(文字・語彙、読解・文法)を行う。また学期末にN2とN1の模擬試験を行う。</p>																																					
<p>・授業計画[単位数：2単位、授業週数：15回]</p>				<p>2コマ連続授業</p>																																	
<p>[後期]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 復習</td> <td>16. 中間試験の解答と解説</td> </tr> <tr> <td>2. 助詞の働きをする言葉1</td> <td>17. 主に文末に使われる言葉</td> </tr> <tr> <td>3. 助詞の働きをする言葉2</td> <td>18. 複合語として使われる言葉1</td> </tr> <tr> <td>4. 「さえ、こそ、まで、ほど、のみ…」を使った言葉</td> <td>19. 名詞を使った言葉</td> </tr> <tr> <td>5. 時を表す言葉1</td> <td>20. ~を...として、~を...にして</td> </tr> <tr> <td>6. 時を表す言葉2</td> <td>21. 敬語1</td> </tr> <tr> <td>7. 「わけ、こと、もの、ところ」を使った言葉1</td> <td>22. 敬語2</td> </tr> <tr> <td>8. 「わけ、こと、もの、ところ」を使った言葉2</td> <td>23. 新出題形式の問題</td> </tr> <tr> <td>9. 「よう、~う/よう、まい、べき」を使った言葉</td> <td>24. まとめと復習</td> </tr> <tr> <td>10. 接続の言葉1</td> <td>25. 総合練習1</td> </tr> <tr> <td>11. 接続の言葉2</td> <td>26. 総合練習2</td> </tr> <tr> <td>12. 接続の言葉3</td> <td>27. 総合練習3</td> </tr> <tr> <td>13. まとめと復習1</td> <td>28. 模擬試験</td> </tr> <tr> <td>14. まとめと復習2</td> <td>29. 期末試験</td> </tr> <tr> <td>15. 中間試験</td> <td>30. 期末試験の解答と解説</td> </tr> </table>								1. 復習	16. 中間試験の解答と解説	2. 助詞の働きをする言葉1	17. 主に文末に使われる言葉	3. 助詞の働きをする言葉2	18. 複合語として使われる言葉1	4. 「さえ、こそ、まで、ほど、のみ…」を使った言葉	19. 名詞を使った言葉	5. 時を表す言葉1	20. ~を...として、~を...にして	6. 時を表す言葉2	21. 敬語1	7. 「わけ、こと、もの、ところ」を使った言葉1	22. 敬語2	8. 「わけ、こと、もの、ところ」を使った言葉2	23. 新出題形式の問題	9. 「よう、~う/よう、まい、べき」を使った言葉	24. まとめと復習	10. 接続の言葉1	25. 総合練習1	11. 接続の言葉2	26. 総合練習2	12. 接続の言葉3	27. 総合練習3	13. まとめと復習1	28. 模擬試験	14. まとめと復習2	29. 期末試験	15. 中間試験	30. 期末試験の解答と解説
1. 復習	16. 中間試験の解答と解説																																				
2. 助詞の働きをする言葉1	17. 主に文末に使われる言葉																																				
3. 助詞の働きをする言葉2	18. 複合語として使われる言葉1																																				
4. 「さえ、こそ、まで、ほど、のみ…」を使った言葉	19. 名詞を使った言葉																																				
5. 時を表す言葉1	20. ~を...として、~を...にして																																				
6. 時を表す言葉2	21. 敬語1																																				
7. 「わけ、こと、もの、ところ」を使った言葉1	22. 敬語2																																				
8. 「わけ、こと、もの、ところ」を使った言葉2	23. 新出題形式の問題																																				
9. 「よう、~う/よう、まい、べき」を使った言葉	24. まとめと復習																																				
10. 接続の言葉1	25. 総合練習1																																				
11. 接続の言葉2	26. 総合練習2																																				
12. 接続の言葉3	27. 総合練習3																																				
13. まとめと復習1	28. 模擬試験																																				
14. まとめと復習2	29. 期末試験																																				
15. 中間試験	30. 期末試験の解答と解説																																				
<p>・講義の進め方</p> <p>基本的に教科書に沿って進める。必要に応じて副教材やプリントを使う。授業の内容が多く、進行も速いため、新出語句、発音などは十分に準備して授業に臨むと効果的である。また宿題は毎回出るので、次回の授業までにやっておくのが原則である。なお、当然のことながら授業はすべて日本語で行う。</p>																																					
<p>・試験と成績評価</p> <p>まとめテスト(中間・期末試験)は60%、平常点(出席・講義への取り込み・小テストなど)は40%で総合評価する。60点以上を合格とする。日本語能力試験の受験を必須とする。</p>																																					
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. しっかり予習・復習すること。1日最低2時間は日本語の勉強時間を確保し、毎日勉強すること。 2. 原則として、出席回数数の2/3を満たさないものは成績評価しない。(遅刻3回で欠席1回とみなす) 3. 日本語の辞書を携帯すること。 																																					
<p>・使用教材</p> <p>教科書：教科書はクラスによって異なるため、後期開始後に教員の指示に従うこと。</p> <p>参考書：『どんなときどう使う日本語表現文型500 中・上級』著者：友松悦子・宮本 淳・和栗雅子(アルク) 『日本語能力試験N1・N2 試験に出る漢字と語彙』著者：筒井由美子・大村礼子・喜多民子(ピアソン桐原)</p>																																					